

令和元年度 第2回 横浜市立大学附属2病院監査委員会 監査結果報告書

横浜市立大学附属2病院監査委員会規程第2条第1項に基づき、監査を実施したため、監査結果を以下のとおり報告する。

1 監査の方法

横浜市立大学附属2病院監査委員会規程第2条第1項に基づき、横浜市立大学附属病院及び附属市民総合医療センターにおける医療に係る安全管理の業務状況について、院内関係者からの説明の聴取及び資料の閲覧等の方法によって報告を求めることにより、監査を実施した。

- (1) 日時 令和2年1月16日(木) 9時00分～12時00分
- (2) 場所 横浜市立大学福浦キャンパス A202 教授会室
- (3) 委員 相馬孝博(委員長/千葉大学医学部附属病院)、水地啓子(森法律事務所)、足立雅子(病院ボランティア会ランパス)、益田宗孝(医学部長)、田中靖(法人事務局副局長)
欠席者 なし

2 監査内容

- (1) 前回指摘事項に対する対応状況について
 - ア 指摘事項対応状況
 - イ 前々回以前の委員会における指摘について
- (2) 医療に係る安全管理の業務状況について
 - ア 医療安全管理に関する取組報告(令和元年7月～令和元年12月)
 - イ 画像診断結果の共有不足に関すること
- (3) 院内ラウンド

3 監査結果

- (1) 前回指摘事項に対する対応状況について
 - ア 指摘事項対応状況
 - ①ボランティアの安全管理研修受講に関して
＜両病院＞
附属病院ではインターネットでの受講も可能になったことなど、病院ボランティアに対する安全管理研修の実施状況について確認した。
 - ②監査委員会規程について
＜事務局＞

本委員会で議論した内容が法人、2病院に適切に報告されるよう、規程における報告主体について確認した。

③センターにおける未承認新規医薬品の評価状況、責任者の配置状況

<センター病院>

評価実施件数、責任者の役職等の状況について確認した。

④医療事故の公表判定について

<事務局>

インシデント件数の捉え方など、記者発表資料に沿って発表資料の趣旨について確認した。

イ 前々回以前の委員会における指摘について

①(H29 第1回)DNAR への対応の継続的な検討について

<両病院>

ガイドライン及びフローチャート、Q&A 等を作成し、ガイドラインに基づくDNAR の運用状況について確認した。

②(H29 第1回)監査委員会内容の院内共有・学内共有

<両病院>

監査委員会内容の院内共有、2病院安全管理部門の情報共有会が適宜実施されていることを確認した。

③(H30 第1回)センター病院ラウンド

<センター病院>

案内看護師の追加配置など、外来部門の改善状況等について確認した。

(2) 医療に係る安全管理の業務状況について

ア 医療安全管理に関する取組報告（令和元年7月～令和元年12月）

医療安全管理に関する取組について、2病院の安全管理指導者から報告を受けた。

<附属病院>

安全管理対策委員会議事録、ピアレビュー講評文書、医療安全ニュース、「医療における安全文化に関する調査」結果報告、その他の資料に基づき説明された。

<センター病院>

安全管理対策委員会議事録、SAFETY NEWS、その他の資料等に基づき説明された。

イ 画像診断結果の共有不足に関すること

＜センター病院＞

これまでの改善点や、残存する問題について説明を行った。

(3) 院内ラウンド

患者確認強化月間の取り組みについて、附属病院放射線部受付・撮影室、採血室へラウンドを実施した。

4 指摘事項・要望事項

当監査委員会で指摘した事項は継続して改善の取組がなされており、特段の指摘事項は無い。

DNARについては2病院ともに適切に進められているが、対応件数・運用状況の報告を求めたい。また、2病院安全文化調査の結果や、患者本人確認の調査結果など、2病院の医療安全については適切に情報共有を進めると共に、適宜この委員会にも報告をいただきたい。

引き続き横浜市立大学の組織全体として医療安全の取組を進めていただくことを期待する。

5 総括

医療法施行規則第9条の23に準じ、監査委員会として附属2病院の業務状況を検証した。

附属2病院において概ね適切な安全管理がなされていることを確認した。

令和2年8月20日

横浜市立大学附属2病院監査委員会

委員長 相馬 孝博